

令和2（2020）年 9 月 25日

報道関係者
地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター
総合情報発信室

「京都からやってきた妖怪たち ～国際日本文化研究センターコレクション～」展 開催のご案内

国際日本文化研究センター（日文研）は、このたび湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）との共催で、下記のとおり展覧会を開催することとなりました。本展では、日文研がこれまで収集してきた貴重な妖怪関係資料を多数公開いたします。

記

- タイトル：「京都からやってきた妖怪たち～国際日本文化研究センターコレクション～」展
- 会 期：2020年10月15日（木）～12月22日（火）
- 会 場：湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）企画展示室
〒728-0021 広島県三次市三次町1691番地4
- 開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
- 休 館 日：水曜日
- 入 館 料：一般480円、大学生及び高校生320円、中学生及び小学生160円
- 主 催：湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）
国際日本文化研究センター

○概 要：

湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）は、江戸時代の妖怪物語「稻生物語録」の舞台となった三次（みよし）市三次町に昨年開館しました。「妖怪」をテーマとする日本で唯一の博物館です。長年にわたって「妖怪」研究を続けられてきた湯本豪一名誉館長が収集された「湯本豪一コレクション」を中心に調査研究・展示活動を行っています。

本展は、同館が湯本コレクション以外の作品を扱う初めての展覧会であり、これから他の博物館施設等と連携していく先駆けともなるものです。日文研がこれまでに収集してきた妖怪関係資料の中から「妖怪四季風俗絵巻」「百鬼ノ図」「諸国妖怪図巻」のほか、三次ゆかりの「稻生家妖怪伝絵巻」など、貴重な作品を多数出展いたします。

*本展覧会は、人間文化研究機構「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業」として実施します。

（添付：A4チラシ片面 2枚）

本件お問い合わせ先：国際日本文化研究センター プロジェクト推進室
木場 貴俊（きば たかとし）

TEL：075-335-2079 E-mail：taishu_staff@nichibun.ac.jp

秋の特別展 - Autumn Special Exhibition -

国際日本文化研究センターコレクション

京都から やってきた 妖怪たち

2020年

10月15日(木) ~ 12月22日(火)

〈1期〉10月15日(木) ~ 10月27日(火)
〈2期〉10月29日(木) ~ 11月10日(火)
〈3期〉11月12日(木) ~ 11月24日(火)
〈4期〉11月26日(木) ~ 12月8日(火)
〈5期〉12月10日(木) ~ 12月22日(火)

※会期中、展示替えを行います。

The Collection of International Research Center for Japanese Studies

YOKAI from KYOTO



湯本豪一記念
日本妖怪博物館
三次もののけミュージアム
Yumoto Koichi Memorial JAPAN YOKAI MUSEUM
Miyoshi Mononoke Museum



「博物館・展示を活用した
最先端研究の可視化・高度化事業」

■会場／湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)企画展示室 ■開館時間／9:30~17:00(入館は16:30まで) ■休館日／水曜日
■入館料／一般480円、高・大学生320円、小・中学生160円 ※「チームラボ 妖怪遊園地」に入場の場合、料金が異なります。 ※特別展・常設展は共通のチケットです。

■主催／湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)・国際日本文化研究センター

「百鬼ノ図」(部分) 吉光 江戸時代

国際日本文化研究センター所蔵

京都から やってきた 妖怪たち



1

2

The Collection of International Research Center for Japanese Studies
YOKAI from KYOTO

国際日本文化研究センター（京都市西京区、以下「日文研」）は、これまで、日本文化に対する新しい視点の獲得や国際的な位置付けなど、日本文化研究に大きな足跡を残してきました。そうした新しい日本文化の研究テーマのひとつとして「妖怪」があり、「妖怪関係資料の収集」「妖怪関連のデータベース作成」などの研究成果をあげてきました。

日本初の妖怪博物館である当館と、日文研は、ともに妖怪文化を社会へ広く発信する施設であるという点で一致しています。そこで、日文研がこれまでに収集してきた妖怪関係資料を当館で展示し、これまでの研究成果を紹介し、当館が所蔵品以外で行う初めての展示会であり、京都からやってきた第一級の妖怪資料を鑑賞できる、またとない機会です。



3

4

5

6

- ①「妖怪四季風俗絵巻」(部分) 英一蝶 享保2(1717)年(展示期間:全期 ※会期中、場面替あり)
 - ②「さむがり狸 初午のためぎ」歌川国芳 江戸時代後期(展示期間:10/29～11/10)
 - ③「新形三十六怪撰 蒲生貞秀臣土岐元貞甲州猪鼻山魔王投倒圖」月岡芳年 明治時代(展示期間:10/15～10/27)
 - ④「百もの語 執念」落合芳幾 明治時代(展示期間:12/10～12/22)
 - ⑤「Shitakiri Suzume(舌切り雀)」明治18(1885)年(展示期間:11/12～12/8)
 - ⑥「諸国妖怪図巻」(部分) 長岡多門 江戸時代中期(展示期間:全期 ※会期中、場面替あり)
 - ⑦「しん板猫のよめ入」(部分) 明治29(1896)年(展示期間:10/15～10/27)
 - ⑧「あら嬉し大女日ゆり直す」(部分) 江戸時代後期(展示期間:12/10～12/22)
- すべて国際日本文化研究センター所蔵

関連イベント ものけシンポジウム「怪異・妖怪研究と日文研」

■日時: 11月15日(日) 14:00～16:30 ■会場: 三次ふれあい会館《三次コミュニティセンター》(三次市三次町1828-5)

▶ 基調講演「なぜ妖怪を研究するのか」

講師: 小松 和彦 (国際日本文化研究センター 名誉教授)

▶ 研究報告「怪異・妖怪研究の軌跡と展望」

報告: 常光 徹 (国立歴史民俗博物館 名誉教授)

▶ 研究報告「日文研妖怪コレクションの見どころ」

報告: 木場 貴俊 (国際日本文化研究センター プロジェクト研究員)

▶ パネルディスカッション「怪異・妖怪研究と日文研」

パネラー: 小松 和彦 (国際日本文化研究センター 名誉教授)
常光 徹 (国立歴史民俗博物館 名誉教授)
湯本 豪一 (湯本豪一記念日本妖怪博物館 名誉館長)
コーディネーター: 木場 貴俊 (国際日本文化研究センター プロジェクト研究員)

■定員: 75名 ■参加費: 無料 ■申込方法: 往復はがき

往信の宛名面 返信の文面 返信の宛名面 往信の文面

〒728-0021 湯本豪一記念日本妖怪博物館 ものけシンポジウム係	広島県三次市三次町 一六九・四	代表者の住所氏名	①代表者の氏名(ふりがな) ②代表者の住所 ③代表者の電話番号 ④参加申込人数(2名まで)
--	--------------------	----------	--

■申込締切 2020年10月30日(金)必着
往信文面に①～④と、返信宛名面に代表者の住所・氏名をご記入の上、下記までご応募ください。往復はがき1通につき、代表者を含む2名まで応募できます。応募者多数の場合、抽選となります。
【宛先】〒728-0021 広島県三次市三次町1691-4
湯本豪一記念日本妖怪博物館 ものけシンポジウム係

広島から	JR芸備線快速(広島駅→三次駅)約1時間20分 JR芸備線普通(広島駅→三次駅)約1時間50分	高速バス(広島BC→三次もののけミュージアム)約1時間30分 自動車(山陽道～中国道経由)約1時間10分
広島空港から	自動車で約1時間10分 約56km	
福山から	JR福塩線(福山駅→三次駅)約2時間45分 自動車(山陽道～尾道自動車道経由)約1時間15分	
大阪から	高速バス(新大阪駅→三次駅前)約4時間55分	
松江から	自動車(山陰道→松江自動車道)約1時間20分	
三次駅から	自動車で約5分 約2.1km	



妖
湯本豪一記念
日本妖怪博物館
三次もののけミュージアム
Yumoto Kaichi Memorial JAPAN YOKAI MUSEUM
Miyoshi Mononoke Museum

〒728-0021 広島県三次市三次町1691-4
TEL.0824-69-0111 FAX.0824-69-0112
<https://miyoshi-mononoke.jp/>